



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 東亜ディーケーケー株式会社
 コード番号 6848 URL <http://www.toadkk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 輝男
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 玉井 亨

TEL 03-3202-0211

四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,903	△1.9	83	△61.6	109	△56.7	6	△93.6
25年3月期第1四半期	2,959	△0.8	217	△31.5	253	△25.2	99	△39.9

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 118百万円 (49.7%) 25年3月期第1四半期 78百万円 (△57.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	0.32	—
25年3月期第1四半期	5.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	16,487	10,414	63.2
25年3月期	16,769	10,494	62.6

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 10,414百万円 25年3月期 10,494百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	10.00	10.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,300	0.9	390	△14.2	450	△10.5	200	△24.7	10.08
通期	14,600	6.8	1,400	1.1	1,450	1.4	900	2.4	45.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	19,880,620 株	25年3月期	19,880,620 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	47,325 株	25年3月期	47,309 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	19,833,281 株	25年3月期1Q	19,833,562 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日～6月30日)におけるわが国経済は、日本経済全体がアベノミクスへの期待感はあるものの、実感するには至らず、極めて厳しい需要環境のまま推移いたしました。

当計測器業界も、一部輸出産業や立ち上がりの兆しを見せた半導体産業を除き、長引くデフレ、前年度終盤まで続いた超円高の影響から、国内全体の新規設備投資意欲の回復までには至らず、とり分け他産業の好・不況の反映が6ヶ月から1年程度遅れるというジククスどおり、低迷した四半期でありました。

このような需要環境の中で当社グループは、主たる事業分野である環境・プロセス分析機器を中心に販売活動を展開した結果、売上高は2%弱の微減に止まり、経営改革運動の一環として推進している単月黒字化運動は、平成21年9月からこの平成25年6月まで46ヶ月連勝記録を更新することが出来ました。

- しかしながら、
- ① デフレ経済下での高原価受注品の集中
 - ② 急激な円安で輸入HACH製品の原価アップ
 - ③ 不動産賃貸事業の本社隣接ビル解約による収益減

という損益面での厳しい条件が重なり、前年同期比において営業利益、経常利益、四半期純利益共に大幅な減益を計上せざるを得ない状況となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高2,903百万円(前年同期比1.9%減)、営業利益83百万円(前年同期比61.6%減)、経常利益109百万円(前年同期比56.7%減)、四半期純利益6百万円(前年同期比93.6%減)となりました。

<計測機器事業>

環境・プロセス分析機器分野では、景気動向が厳しい中、特に期待していた中国市場向け環境用水質分析計は、同国の環境整備投資事情から立ち上がりが遅れているものの、国内販売の健闘もあって前年同期を41百万円(4.5%)上回る結果となりました。

一方、科学分析機器分野では、医療用機器の透析関連設備向け「透析用粉末薬剤溶解装置」は堅調に推移したものの、ラボ用分析機器・ポータブル分析機器分野において前年同期にあったLAシステムなどの特需をカバーすることが出来ず、前年同期を42百万円(10.9%)下回る結果となりました。また、産業用ガス検知警報器分野においても、前年同期にあった韓国向け特需をカバーすることが出来ず、前年同期を32百万円(32.9%)下回る結果となりました。

電極・標準液、保守・修理及び部品・その他の分野は、横這いの結果となりました。

以上の結果、当事業の業績は、売上高2,849百万円(前年同期比1.2%減)、セグメント利益232百万円(前年同期比30.5%減)となりました。

<不動産賃貸事業>

東京都新宿区の本社に隣接して賃貸ビル1棟、埼玉県狭山市に貸店舗1棟ほかを所有し、不動産賃貸事業を行っております。

当事業の業績は、この平成25年5月末をもって本社に隣接する賃貸ビルのテナントが退去したこともあって減収減益となり、売上高54百万円(前年同期比27.1%減)、セグメント利益34百万円(前年同期比38.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ282百万円減少の16,487百万円となりました。これは、たな卸資産が264百万円増加し、受取手形及び売掛金が624百万円減少したことなどによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ202百万円減少の6,073百万円となりました。これは、短期借入金が189百万円増加し、未払法人税等が198百万円、賞与引当金が143百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ80百万円減少の10,414百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期第2四半期の見通しにつきましては、まずは、平成26年3月期第1四半期の収益傾向を平成25年4月26日に公表した業績予想数値まで回復させる計画を実行しているところであります。

一方、平成26年3月期通期の業績見通しにつきましては、不動産賃貸事業の新テナントが一部内定し、計測機器事業の環境・プロセス機器分野においても大口受注(水質分析計)の下期納期商談が進み、併せてPM2.5に象徴される環境用大気分析装置の需要も期待されておりますので、一定の回復があるものと見込んでおります。

従いまして、現時点では平成25年4月26日に公表した第2四半期累計期間及び通期業績予想に変更はありません。

しかしながら、アベノミクス効果に期待するものの、経過次第では厳しい結果も予想され、業績予想修正の必要性が生じた場合には速やかに開示させていただきます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,698	3,661
受取手形及び売掛金	5,390	4,766
商品及び製品	741	932
原材料	541	572
仕掛品	474	517
繰延税金資産	158	165
その他	139	168
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	11,139	10,778
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,184	2,154
機械装置及び運搬具(純額)	69	63
工具、器具及び備品(純額)	160	153
土地	765	765
リース資産(純額)	137	130
建設仮勘定	21	22
有形固定資産合計	3,337	3,289
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	447	469
その他	146	137
無形固定資産合計	593	607
投資その他の資産		
投資有価証券	992	1,163
繰延税金資産	461	403
その他	251	252
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	1,698	1,812
固定資産合計	5,630	5,708
資産合計	16,769	16,487

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,057	976
短期借入金	557	747
リース債務	79	79
未払金	609	658
未払法人税等	267	69
未払消費税等	35	37
賞与引当金	217	73
役員賞与引当金	24	—
損害補償損失引当金	219	201
その他	368	413
流動負債合計	3,437	3,256
固定負債		
長期借入金	93	73
リース債務	114	102
長期預り保証金	238	237
退職給付引当金	2,143	2,149
役員退職慰労引当金	180	185
資産除去債務	67	67
固定負債合計	2,837	2,816
負債合計	6,275	6,073
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,842	1,842
資本剰余金	1,297	1,297
利益剰余金	6,936	6,744
自己株式	△11	△11
株主資本合計	10,065	9,873
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	429	541
その他の包括利益累計額合計	429	541
純資産合計	10,494	10,414
負債純資産合計	16,769	16,487

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,959	2,903
売上原価	1,733	1,811
売上総利益	1,225	1,091
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	513	512
賞与引当金繰入額	40	36
退職給付費用	38	39
役員退職慰労引当金繰入額	12	9
貸倒引当金繰入額	—	0
減価償却費	14	14
研究開発費	122	107
その他	265	287
販売費及び一般管理費合計	1,007	1,007
営業利益	217	83
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	26	3
受取負担金	—	24
持分法による投資利益	—	0
保険解約返戻金	2	—
その他	13	8
営業外収益合計	43	37
営業外費用		
支払利息	5	3
持分法による投資損失	0	—
債権売却損	1	1
為替差損	—	6
その他	0	0
営業外費用合計	7	11
経常利益	253	109
特別損失		
固定資産除却損	0	0
その他	—	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	253	109
法人税等	154	103
少数株主損益調整前四半期純利益	99	6
四半期純利益	99	6

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	99	6
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20	111
その他の包括利益合計	△20	111
四半期包括利益	78	118
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	78	118
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	計測機器事業	不動産賃貸事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,885	74	2,959	2,959
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,885	74	2,959	2,959
セグメント利益	334	56	390	390

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	390
全社費用(注)	△173
四半期連結損益計算書の営業利益	217

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	計測機器事業	不動産賃貸事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,849	54	2,903	2,903
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,849	54	2,903	2,903
セグメント利益	232	34	267	267

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	267
全社費用(注)	△183
四半期連結損益計算書の営業利益	83

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。